

別紙3 添付様式6 別添（改善計画・実施状況）

私たちの施設は、「福祉サービス第三者評価」を活用して、利用者サービス向上のために常に努力しています。

|      |            |
|------|------------|
| 事業所名 | H O P E 神田 |
|------|------------|

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

| 第三者評価受審年度                          |  | 令和2年度   |  |
|------------------------------------|--|---|--|
| 項目                                 | 評価結果に基づく現状分析<br>(令和2年度末時点)   | 改善計画<br>(令和2年度末時点)  | 実施状況<br>(令和2年度末時点)   |
| 事業継続計画<br>(BCP)の<br>アップデート<br>について | 複数の会議体によって日常的にリスク管理が行われている。リスクマネジメントの一環として、現行の災害対策に加えて、事業継続に関わるリスク項目の検討をして広義のBCPの作成が期待されている。 | ① 小規模事業所の現状を踏まえた、事業継続におけるリスクの洗い出しを行う。<br>② 個々のリスクへの対応方法を検討し、既存のBCPに順次反映させていく。 | 経営会議やオペレーション会議、職員会議等の実施でリスク課題を収集する仕組みは有している。収集した課題の整理と分析、優先順位付けを行う仕組みの構築が課題。 |
| 職員の学習項目の明確化と<br>機会の確保<br>について      | 個々の職業準備性課題に対するアプローチだけでは本質的な問題解決に至らない事案もあるため、障がい知識や支援技術の習得だけでなく、福祉制度も含めた幅広い知識の習得を計画していくことが有効。 | ① 既存の育成(研修)計画を実施しながら、学習項目の整理を行う。<br>② 幅広い知識の習得においては、外部機関との連携も視野に企画する。         | 外部研修には積極的に参加し、職員間で研修結果を共有している。内部研修も行っている。整理のプロセスとして、これまでの研修実施記録の確認を進めている。    |
| 業務体制見直しと情報資産の活用<br>について            | 改善活動や課題解決、施策推進を行うための資源分配や業務体制の見直しを計画している。生産性向上のためにICT活用の促進も計画している。                           | ① 職員の増員を計画している。<br>② 既存業務の分担を整理し、最適化を図る。<br>③ 顧客管理システムへの企業情報入力を促進する。          | 次年度事業計画に人員計画を記載予定。様々な雇用形態に対応するよう就業規則の全面改訂も専門家を交えて進めている。                      |

(注意)

- ※1 この様式は、「千代田区障害者日中活動系サービス推進事業補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。
- ※2 「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。
- ※3 第三者評価の結果は、施設において公表しています。